

おれんじニュース

No322

2017年1月

小表山の岩峰に行く
(写真提供は乾氏 12/4)

CONTENTS

頌春	2
年頭にあたって&お知らせ	3
月例山行案内	4
伊藤正一さんのこと	5
普賢岳	6
中摩殿畑山	7
小表山・鷹巣岳	8
鉢巻山	9
忘年会	10
相撲とシルクロード	11
おれんじカレンダー	12

2017年	1月	2月	時間	場所
専門部会	10日(火)	14日(火)	13:30~15:30	西諫早
全体集会	25日(水)	22日(水)	19:00~21:00	公民館

頌春

書

古健揚成念下と下

西の年元旦



書は林勝則氏

年頭にあたって

会長 福岡 正廣

オレンジハイキングクラブも、多くの山仲間を支えられて、今年で38年目を迎える事になりました。

会員も高齢化が進み、体力や筋力が落ちて来ているので怪我が心配です。

70歳以降も安全にハイキングや登山を楽しむ為には、基本となる体力、筋力を維持しておくことが大切だそうです。

御館山歩きや山筋ゴーゴー体操を仲間と「続けているね!」と声をかけ励ましあいながら続け、持久力や筋肉を付けて、がんばって「生涯登山」を目標に楽しみたいものです

12/17(土)標識の取換え



郡岳～経ヶ岳の稜線に、オレンジHCが標識を立てていますが、古くなったので、内容や材質を一新したものと取替えました。登山をする方々のお役に立てれば幸いです。(経ヶ岳より)



県連連絡

長崎県動労者山岳連盟登山学校

雨天中止！
蛍光ペンを3
本くらい用意
してください

地図と コンパスの使い方

2017年 1月21日(土)

場所 虚空蔵山の糖野側

時間 午前9時30分

集合場所 高速大村PA集合(2時間程度座学)

講師 垣田 幸助(長崎カルチャー山の会) 他数名リーダー予定

地図・コンパスが苦手な貴方・貴女

地図・コンパスの使い方は、登山の最も大事な基本です。

山中で自分の現在地を確認できることはとても大事なことです。

まず、地図・コンパスを使いこなせるようになりましょう。

地図・コンパスに頼り道迷いをなくしましょう。

※ 申し込みは 1/15(土)までに各会毎にきとめて
826-9058 川原一之までお願ひします。

本の紹介

登山外来へようこそ(大城和恵氏著)



山で多い怪我や病気は転倒滑落による外傷、次が病気。

この病気の中で一番多いのが心臓突然死だそうです。また、低体温症、道迷い、悪天候が重なり、疲労から亡くなってしまいう方も多いそうです。

登山は自主性に委ねられたスポーツで、何歳からでも始めることができます。しかし、ひとたび大自然の中に足を踏み入ると、怪我や病気でも、街にいるように病院には行けません。登山者の高齢化が進んでいる現状では、自身の体調のリスクを自覚することが必要です。本書はその参考になり、各人必携の書と思います。


月例山行案内

1月

部	山行部	自然保護部	技術研修部	ひまわり山行部
月/日(曜)	1/14(土)	1/17(火)	1/22(日)	1/27(金)
山名(行事)	寺岳/小八郎岳/八郎	湯の峰山/祐徳神社/酒蔵	鶴見岳	吾妻岳
地 図	長崎西南部	古枝(佐賀県)	別府西部(大分県)	島原
集合場所	諫早駅裏 7:20 西諫早駅 7:30	諫早駅発 7:54 西諫早発 7:50	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 8:30 西諫早駅 8:20
難 易 度	体力 2 / 技術 1	体力 1 / 技術 1	体力 2 / 技術 2	体力 1 / 技術 1
帰着時間	16:30	16:00	20:30	16:00
歩行時間	5.0h	3.0h	5.0h	2.0h
交通手段	マイクロバス	JR	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温 泉	有り	なし	有り	有り
参加費	3,000	実費	5,000	1,000
申込期限	1/7	1/10	1/18	1/23
集 約	田村	山口	山下ちず子	林孝子
備 考	歩きがいが、ある山です	一年の安全祈願と酒蔵めぐり	霧氷美しき神秘の山	ゆっくり歩き自然を楽しむ

2月

部	自然保護部	技術研修部	ひまわり山行部	山行部
月/日(曜)	2/12(日)	2/18(土)	2/24	2/26(日)
山名(行事)	宝満山	雷山	岩屋山	皿倉山
地 図	太宰府	雷山(佐賀県)	長崎西北部	八幡
集合場所	諫早駅発 7:00 西諫早発 7:10	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫 早 駅8:20 西諫早駅 8:24	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30
難 易 度	体力 1 / 技術 1	体力 1 / 技術 1	体力 1 / 技術 1	体力 1 / 技術 1
帰着時間	17:00	19:00	15:00	18:00
歩行時間	3.5h	4.0h	2.0h	4.0h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	JR	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温 泉	有り	有り	なし	有り
参加費	4,000	5,000	1,000	5,000
申込期限	2/5	2/10	2/20	2/18
集 約	坂本	山下ちず子	林孝子	田村
備 考	観梅・石庭見学、梅が枝もちも	防寒対策、装備を万全に	ゆっくり歩き自然を楽しむ	誰でも楽しめる山です



伊藤 正一さんのこと

川原慶紀 記

雲ノ平と黒部五郎

戦後、伊藤さんが三俣小屋を手に入れたとき、ここに至る道は烏帽子から槍ヶ岳へ抜ける道しか無く、どちらから入っても2日間を要した。ヘリコプターによる輸送法の無かった当時、三俣小屋の改築や、水晶小屋の建設、雲の平へ誘う道を開く為には大町から1日で三俣へ到達する道が必要であった。伊藤さんは1955年から7年の歳月をかけ湯俣の谷を調査し、私財を投じて3年間をかけ伊藤新道を完成させた。以来この道を通って年間2000人以上の登山者が登って来るようになった。その後1983年高瀬ダム貯水によって、湯俣の谷の崩落が激しく、吹き出した亜硫酸ガスによる吊り橋の腐食で現在は不通となっている。再開への望みは強く持っておられ、部分的に手を入れられている。

伊藤さんが三俣小屋を手に入れた頃、山に登山者の姿はなかったが、2年3年と経つうちに国の民主化が進み、労働条件が好くなると、多くの若い登山者が登って来るようになり、それと共に事故や遭難も急増して行った。その人達は大半が十分な装備もなく、技術、知識も未熟で、その上、休暇が無いからと悪天の中を下山して行き遭難するという事も多く、伊藤さんはこの頃の若い登山者の置かれた立場にも問題を感じないでは居られなかった。

つづく

11/18

行程

普賢岳

仁田峠 9:30～
 あざみ谷 10:00～紅葉茶屋 10:30～普賢岳
 11:10/11:25～紅葉茶屋 11:55/12:05～
 あざみ谷(昼食)12:30/12:45～仁田峠 13:10
 ＊紅葉茶屋に下りてきたところで雨脚が
 強くなり、当初計画の妙見周回を断念
 し仁田峠に戻る。

登山概要

仁田峠を出発、普賢頂上では島原側
 からガスが湧く。紅葉茶屋に下ると雨が強くなり妙見神社周回を
 断念仁田峠に戻る。雨で滑りやすくなっていたが 無事下山。
 ◎一般参加者がしっかりした雨具を持参してなかった。
 今後の山行の際に考慮すべき事項と考える。

一言感想

- *あと一時間、雨が降るのを我慢してくれたら、ちょっと消化不良
- *雨に当たりましたが楽しかったです。近くの登山の時は、よろしく
- *紅葉狩りの時期は過ぎたが、あざみ谷紅葉が彩る山道も素晴らしい。
- *雨も酷くならず楽しい山行でした。霧氷のときにも一度来たい。
- *四季折々楽しめる 雲仙の山々はいつ来ても心癒される。霧がかかった山々を普賢岳から見たのは久しぶり、雨の雲仙も良い。
- *期待の紅葉は落ち葉で所処には残って仁田峠で振り返いたツツジ が慰めてくれました。

乾、松岡、下釜、田村
 吉川、山口、大寶
 矢矧(一般)



普賢岳頂上にて



あざみ谷を登る



国見岳をバックに



紅葉茶屋で休憩



仁田峠でおつかれさまでした

11/20(日) 中摩殿畑山(991m 大分耶馬溪)

参加者 中須賀 大久保 中野 鎗水 高田 下釜 松田 乾 田中静 工藤 高森

行程 (往) 6:20 諫早駅裏～6:30 西諫早駅～9:15 岩伏P～10:45 中摩殿畑山山頂
～12:00 昼食～12:50 岩伏P

(復) 13:15 天の岩戸～14:00 岩伏P～雪舟庭～やまくに温泉～18:30 諫早



中摩殿畑山頂



誕生日おめでとう!

概要

変わった山名だが山自体はわりと平凡だった。
下山後に行った天の岩戸、西京橋は沢を渡り
スリルがあった。
雪舟庭でのお接待には感動した。



おとっと!



静かな中摩村

英彦山

一言感想

*山自体はかなり急な登り、紅葉を見ながら登った。天の岩戸を見ての下りは足がガクガク、おもしろく良い一日でした。

*山は長い林道の後の急登、頂上は景色良し、サプライズを有難う、雪舟庭も美しく、何よりおばあちゃんが最高。



雪舟庭でたらふくもう少し待ってよ

畑山頂より

12/4 小表山・鷹巣岳

参加者：乾 松岡 福岡 佐原 山下 高森 下釜 田中静



行程：西諫早駅 6:30 - 諫早 IC - 大分米良 IC 9:30 - 国道 10 号線 - 国道 326 号線 - 宇目町
越野 - 宇目小国林道 - 登山口 10:30 - 鷹巣岳頂上 11:30 - 小表山(昼) 12:40/13:20
- 登山口 14:10 - 大分米良 IC 14:40 - 諫早着 19:00

概要：宇目小国大規模林道から鷹巣岳・小表山の 2 峰に登る。行程中の難所である鷹巣岳頂上直下の岩場等では、不安者はロープで安全確保し、自力で登攀・下降した。また雨も登山開始後すぐに上がり、参加者全員が計画通り 2 峰を踏み無事下山した。難所で遺憾なくロープワークを実践できたことは、日頃のレスキュー訓練の成果と考える。

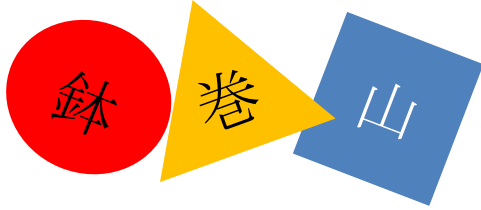


一言感想

- * 92歳にして20m余の岩場を完登！スゴイ！佐原さんはオレンジの誇る Super Woman です。
- * 天気は残念だったが、岩場はスリルがあり怖かったけど頑張って全部登れてよかった。
- * たかが 720m されど 711m。山椒も胡椒も効いた低山。紅葉の名残もなかなかおつでした。
- * 雨の技研部、地震の技研部雨の予報悩みましたが、初めての山やはり行きたくて…… 登り始めは雨も止み、岩峰もなんとかクリアして素晴らしかったです。
- * 神経痛が痛み歩けるか心配したが岩場も無事登ることが出来、まだまだ行けるかなと……
- * 高速道路を走行している時には大雨が降っていたので、今日一日雨かと諦めていたが、登る頃には雨が止んだので嬉しかった。鷹巣山の頂上直下の岩場は高さもあり、足元が濡れて滑りやすかったので緊張したが楽しかった。雲がかかり展望が悪かったのは残念だったが紅葉が綺麗だったのがよかったし、初めての山に 2 つ登れたので満足でした。
- * 久しぶりの参加。朝からは小雨模様だったが、下山したら空模様が好転し、長い道中の景色が良かったです。



12/9



行程

西諫早駅 8:00～諫早駅裏 8:10～牧場の里
あずま (P) 8:50～鉢巻山 10:20 (出発 10:50)
～牧場の里あずま (P) 12:20～ (昼食 40分)
出発 13:00 千年の湯 13:30 (入浴 50分) 出発
14:20～西諫早駅 14:50

登山概要

車を牧場の駐車場に置き中国の万里の長城を模した城壁の上を歩く。城壁が切れた右手に登山道がある。プラスチックの板に「鉢巻山」と書かれたプレートが、数多くつけて有り、木にもテープが巻いてあるので、迷うことはない。急な坂がはずきトラロープ伝いや木の枝をつかみながら登る。特に山頂手前の2～300mは傾斜が厳しいので注意。山頂は展望がきかないが、100m手前の岩場からの展望は素晴らしいそうだ。今回は曇っていて見えなかった。残念。おなじ道を下山。



福岡、乾、田中、山口、佐原、川内、林た、矢矧(一般)



初冬の雑木



低山なれど急登の連続



楽しいお弁当

前方に見えるのが鉢巻山、牛が草をはむ、牧歌的

一言感想

- *初めての山で、思ったより険しく訓練にもなった。
どんな山かな？と思ったら放牧場に来てびっくり 637mの山が急峻で味のある山でした。
牧場の経営者の合図に集まってくる牛の親子がかわいくてもう牛肉なんか食べられないとー？ 思いました。
- *急な傾斜でしたが面白く、牛もかわいかったです。



登山開始

2016/12/02(金)

忘年会

お疲れさま!

2016年の山行行事も無事終えようとしていきます。

近年歳を重ねる毎に、健康維持や鍛錬の為日々の訓練に余念のない人が増えたり、新しい試み(水曜登山や計画の持ち回り、事前偵察)も定着したためか、山行回数が増えているにも関わらず、事故もなく過ごすことが出来ました。

今年の締めくくりとして、諫早一のホテルで忘年会を行いました、

紳士淑女が集まりました。日頃、登山姿しか記憶にない目には、非常に新鮮に映りました。みんな意外ときれいな～、若いころはさぞかし?

サプライズあり、歌ありで楽しい会となりました。



男は皮をむく、トントントン



女は踊りだすよ～、ハイハイホ～



やさしい～
あ～いの～

Amazing grace,
how sweet the
sound



二人は悔い改める～、ホ～ホ～



相撲とシルクロード

長崎の小島地区ふれあいセンターだより
第 317 号に、興味深い記事あったので、
かいつまんで紹介してみたい。

表題は「相撲とヘブライ語」となっていたが、相撲もシルクロードを通して日本に伝わった事を伺わせる内容なので、あえて「相撲とシルクロード」とした。

大相撲 11 月場所は鶴竜(モンゴル)の優勝で幕を閉じた。
今や上位陣はモンゴル出身者になって久しい、日本人
の横綱誕生を期待する所である。

ところで相撲界で使われる言葉はヘブライ
(ヘブル)語に起源をもつものがあるそう
で、スモウは「相撲」「角力」などと漢字
でかくが、これは当て字であるとのこと。
旧約聖書には、ヘブル語で「シュモー」
とか「スモー」という言葉が出て
くるという。



また、相撲で使われる「ハッケヨイ、ノコッタ」も日本語では、ただの掛け声のようにしか思えないが、ヘブル語では「ハッケ」は「なげつける」、「ヨイ」は「やっつける」となり、「ノコッタ、ノコッタ」は「なげたぞ、やったぞ」という意味になり、まさに相撲をとる場面にぴったり当てはまるようである。

中東と日本をつなぐシルクロードの地域に、相撲の風習が点在していることも「相撲のルーツがイスラエル」という根拠の一つとなっているとのこと。

モンゴル相撲は良く知られている。

相撲では取り組む前に土俵に塩をまく、これは土俵を清めるためであり、これもイスラエルと同じである。欧米人などには理解できないが、ユダヤ人なら理解できるそうである。

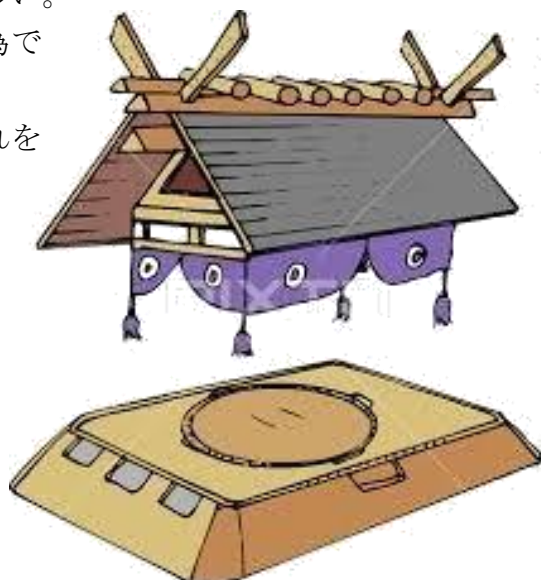
相撲は昔より村や集落の祭りの一環としてやる事が多い。
なぜなら、相撲は神事であり、神に相撲を奉納する為である。

相撲の勝負は、ただ勝ち負けを競うのではなく、それを通して神に豊穰の祝福を願っているのである。



オレンジ HC にも相撲好きが大勢いる
ようである。

来場所日本人の活躍を期待しつつ、
我々は山から健康を頂くと共に、
安全登山に留意し、いつまでも
残った、残った!





おれんじカレンダー

1月			2月		
1	日		1	水	水曜登山
2	月		2	木	
3	火		3	金	
4	水	水曜登山	4	土	
5	木		5	日	雪山訓練(伯耆大山、県連)
6	金		6	月	
7	土		7	火	
8	日		8	水	水曜登山
9	月		9	木	
10	火	専門部会(13:30~15:30)	10	金	
11	水	水曜登山	11	土	
12	木		12	日	宝満山(自然保護部)
13	金		13	月	
14	土	寺岳/小八郎岳/八郎岳(山行部)	14	火	専門部会(13:30~15:30)
15	日		15	水	水曜登山
16	月		16	木	
17	火	湯の峰山/祐徳神社/酒蔵(自然保護部)	17	金	
18	水	水曜登山	18	土	雷山(技研部)
19	木		19	日	
20	金		20	月	
21	土	コンパス、地図読み(虚空蔵山、県連)	21	火	
22	日	鶴見岳(技研部)(大分県)	22	水	水曜登山、 全体集会(19:00~21:00)
23	月		23	木	
24	火		24	金	岩屋山(ひまわり)
25	水	水曜登山、 全体集会(19:00~21:00)	25	土	コンパニオンレスキュー
26	木		26	日	皿倉山(山行部)
27	金	吾妻岳(ひまわり部)(長崎県)	27	月	
28	土	コンパニオンレスキュー	28	火	
29	日		29		
30	月		30		
31	火		31		

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡 正廣
編集委員	鎗水律夫、中野美津子、林孝子、林和子、 田中静香、高森陽子、兵庫芳隆
発行年月日	2016/12/27
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com